

(やさしい日本語)

## 余震について

余震(よしん)＜後(あと)で 来(く)る 地震(じしん)＞に 気(き)をつけてください

地震(じしん)から 1ヶ月(かげつ)が 過(す)ぎました。

でも、余震(よしん)が 続(つづ)いています。

初(はじめ)の 大(おお)きい 地震(じしん)の 名前(なまえ)は 本震(ほんしん)です。

その 後(あと)で 来(く)る 地震(じしん)の 名前(なまえ)は 余震(よしん)です。

余震(よしん)は 本震(ほんしん)から 時間(じかん)が 経(た)てば 経(た)つ ほど 少(すく)くなります。

でも、これからも ときどき 大(おお)きい 余震(よしん)が あるかもしれません。

本震(ほんしん)が あった 場所(ばしょ)から 遠(とお)くても 余震(よしん)が あるかもしれません。

余震(よしん)に 気(き)をつけてください。

○ 壊(こわ)れた 家(いえ)の 近(ちか)くに 行(い)かないでください。壊(こわ)れた 家(いえ)が 余震(よしん)で もっと 壊(こわ)れるかもしれません。

○ 崖(がけ)の 近(ちか)くに 行(い)かないでください。崖(がけ)が 余震(よしん)で 崩(くず)れて たくさんの 土(つち) や とても 大(おお)きい 石(いし)が 流(なが)れてきたり 上(うえ)から 落(お)ちてきたりするかもしれません。

○ 大(おお)きい 余震(よしん)が あったら、海(うみ)の 近(ちか)くから 逃(に)げてください。大(おお)きい 余震(よしん)で 津波(つなみ)が 来(く)るかもしれません。津波(つなみ)が 来(く)る とき、津波警報(つなみ けいほう)と 津波注意報(つなみ ちゅういほう)で お知(し)らせします。大(おお)きい 余震(よしん)が あって、警報(つなみ けいほう)と 津波注意報(つなみ ちゅういほう)が 出(で)たら、海(うみ)の 近(ちか)くから すぐ 逃(に)げてください。